

科目名	老化と生体		科目 コード	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
					30時間				
区分	社会福祉専門教育科目	選択	担当者名	吉岡 利忠			授業 形態	講義	単独
授業の 概要	ヒトのからだの様々な機能が加齢によって変化することを知る。 各年齢層に見合った社会行動、生活行動などを学習する。								
到達 目標	ヒトのからだの加齢現象を知る。 ヒトのからだの生理機能を知る。 加齢と老化について学ぶ。 上手に老いることの必要性を知る。								
授 業 計 画									
回	主 題		授 業 内 容 (授 業 時 間 外 の 学 修 を 含 む)						備 考
第1回	生体とは		ヒトのからだの機能と加齢現象						
第2回	加齢とは		細胞、組織、器官レベルからみた加齢現象						
第3回	老化とは		人生100年として老化とはいつからか？						
第4回	ヒトのライフスパン		生まれてから死までの生体機能						
第5回	老化についての考え方		生体機能の衰退・形態変化						
第6回	老化現象Ⅰ		活動性が低下することの影響						
第7回	老化現象Ⅱ		筋・骨格系と加齢						
第8回	老化現象Ⅲ		視力、聴力の衰えと加齢						
第9回	老化現象Ⅳ		高齢者と薬について						
第10回	コミュニケーションの大切さ		加齢現象とコミュニケーション						
第11回	老化を伴う精神問題		不安、抑うつ、不眠症など						
第12回	老化を伴う精神問題		加齢と認知症						
第13回	老化を伴う精神問題		脳卒中患者などのケアとケア						
第14回	死にそなえて		介護、看護、ホスピスなどを含めて考える						
第15回	老化と生体		まとめ						
評価 方法 及び 評価 基準	課題レポートによる評価（100%）								
教材 教科書 参考書	講義時に必要なプリントを配布								
留意点	新聞や雑誌の健康および生活欄を見ること								